

Research Bulletin of English Teaching

2023年6月24日制定

査読規程

1. 査読の目的

査読は、大学英語教育学会（以下「JACET」という。）北海道支部の紀要「Research Bulletin of English Teaching」（以下「RBET」という。）に投稿された論文を公正かつ客観的に評価するとともに、投稿された論文が本支部紀要の掲載に相応しい学問的水準に達しているか否かを判定することを目的とする。

2. 審査の対象

本支部の「Research Bulletin of English Teaching 投稿規程」（以下「RBET 投稿規程」という。）に従って投稿された論文を査読の対象とする。なお、RBET 投稿規定に合わない原稿や誤字脱字が多い原稿は、本支部紀要編集委員会（以下「RBET 編集委員会」という。）の判断で審査の対象としないこともある。

3. 査読者の資格

査読者は、原則として本支部の役員とする。ただし、RBET 編集委員会の構成員は査読者を兼ねることは出来ない。なお、支部役員以外の本支部会員に査読を依頼することがある。

4. 査読の体制

投稿があった場合、査読に関する事務全般についてはRBET 編集委員会がその任にあたる。

5. 査読者の決定

査読者については、専門性等を考慮のうえ RBET 編集委員会で決定する。1編の投稿論文に対して2名の査読者を選任する。ただし、2名の査読者の合否判定が大きく食い違う場合は新たな査読者1名に査読を依頼することができる。

6. 査読の期間

査読の期間は、投稿論文が査読者へ届いた日から原則30日以内とする。ただし、査読者からの要請があった場合、査読期間を延長することがある。

7. 査読の公平性

査読の公平性を保つため、論文投稿者の氏名及び査読者の氏名は匿名とする。

JACET 北海道支部

8. 査読の評価基準と合否判定

査読者は、投稿論文の「テーマの設定」「研究の手法」「表現力」「発展性」を5点評価し、以下の4段階で合否判定を行う。

<合否判定基準>

- 4 = 合格：修正は必要なし
- 3 = 条件付き合格：若干の修正を要する
- 2 = 条件付き合格：大幅な修正を要する
- 1 = 不合格

「テーマの設定」

JACET の研究分野としてふさわしいか。対象読者の興味にあっているか。十分な先行研究のまとめを経たうえで設定されているか。発表するに値する重要性を持っているか。

「研究の手法」

量的研究・質的研究いずれかのものとして妥当性を持っているか。必要な手順を踏んでいるか。出された結論を支えるのに十分な証拠を提示しているか。

「表現力」

構成・引用の書式等が論文としての体裁を備えているか。論理的に整合性があるか。発表するに値する完成度を持っているか。

「発展性」

今後の研究の方向性を提示しているか。研究成果を教育実践や当該分野、関連分野の研究で応用する可能性を示唆しているか。将来性のある研究と言えるか。

9. 査読票の提出

査読者は、「Research Bulletin of English Teaching 査読票」（以下「RBET 査読票」という。）に査読した投稿論文の合否の判定や全体的な所見、修正意見等を記入し、査読期間内に RBET 編集委員会委員長へ提出しなければならない。

10. 掲載可否の判定

査読者から RBET 査読票が RBET 編集委員会委員長に提出されたのち、同委員長は RBET 編集委員会を招集する。本委員会において、査読の結果に基づき投稿論文の RBET 掲載について審議し、その可否を決定する。なお、査読者が2名とも不合格の判定をしている場合は、不掲載とする。2名の査読者の合否判定が

JACET 北海道支部

大きく食い違う場合は、RBET 編集委員会の判断で、新たな査読者 1 名に査読を依頼し、掲載の可否を改めて決定することがある。

1 1. 掲載可否の通知

RBET 編集委員会後、RBET 編集委員会委員長は、査読者からの所見や修正意見、RBET 編集委員会からのコメントが記載された「Research Bulletin of English Teaching 査読・修正コメント票」（以下「RBET 査読・修正コメント票」という。）を添えて、投稿論文の RBET 掲載の可否の結果とともに論文投稿者へ通知する。

なお、審査結果は「不採択」「採択」「条件付採択」とする。「条件付採択」の場合、論文投稿者は「RBET 査読・修正コメント票」に基づき、投稿論文の内容や文言の修正を行い、同「RBET 査読・修正コメント票」に自身のコメントを添えて、結果の通知から 30 日以内に修正原稿を RBET 編集委員会委員長へ提出しなければならない。

再提出を受けた「条件付採択」論文は、RBET 編集委員会で採択要件が満たされているかを協議し、採択の可否を改めて論文投稿者へ通知する。この段階で不採択となった投稿論文は、正式に不採択とする。ただし、採択要件が十分には満たされていないと判定された「条件付採択」論文でも、若干の修正や加筆によって採択要件が満たされると判定された場合は、RBET 編集委員会の判断で論文投稿者へ再々提出を依頼することができる。その場合の提出期限は、依頼が論文投稿者へ届いた日から 15 日以内とする。

再々提出を受けた「条件付採択」論文は、RBET 編集委員会で採択要件が満たされているかを改めて協議し、採択の可否を論文投稿者へ通知する。この段階で不採択となった投稿論文は、正式に不採択とする。

なお、査読結果を踏まえ、RBET 編集委員会の判断で投稿分野の変更を応募者に提案し、了解を得たうえで掲載することがある。

Research Bulletin of English Teaching No. 20 編集委員会

目時 光紀（委員長・天使大学）

青木 千加子（北海学園大学）

中津川 雅宣（札幌国際大学）